
朋友だより

朋友だより 175 号をお届けします。

今回は、多様性について考えてみました。

現在の世の中は、多極化の方向に進んでいますから、画一的な考え方、人間集団の組織では対応できないことは、明らかです。

ご参考になれば幸甚です。

2022年4月

(有)コンサルタント朋友
代表取締役 奥長弘三



多様性の尊重



M.サイド著『多様性の科学』を読む

マシュー・サイド著『多様性の科学—画一的で凋落する組織・複数の視点で問題を解決する組織—』(ディスカヴァー・トゥエンティワン発行 2021年6月)を読みました。

2001年9月11日、アメリカで発生した同時多発テロを何故、FBIは阻止できなかったのかを問います。事件発生前、いくつもの兆候があったにも関わらず、事件の発生を許してしまったのは何故か。背景に捜査にあたるFBIには、優秀な人材ばかりが、画一的に集められ、組織内に違った見方、異なった視点から見る人材がいなかったからだといえます。

即ち、人材の多様性を欠いたことが、最大の原因だと主張します。

このような書き出しで始まる同書は、多様性について、いろいろな切り口から論じています。

チンパンジーやオランウータンに比べ、人間の幼児が唯一優れている認知能力は、空間記憶能力や形・音を識別する能力ではなく、「社会的学習能力」だということがわかったのです。

(同書 P.328)

つまり、社会集団の中から、知恵を得てそれを積み重ねていく能力こそが、人類を特別な存在にしたのです。(同書 P.329)

即ち、個人と集団のつながりが大事なのです。これができるのが人類です。

これに対し、チンパンジーやオランウータンは、社会集団から学ぶことができないのです。

肝心なのは、集団の中で人々が自由に意見を交換できるか、互いの反論を受け入れられるか、他人から学ぶことができるか、協力し合えるか、第三者の意見を聞き入れられるか、失敗や間違いを許容できるかです。(同書.343)

以上のように、同書は「多様性」について、重要な問題提起を行っています。

以下、多様性について、いろいろ考えてみたいと思います。

効率第一主義は多様性を否定する

効率第一主義の典型は、新自由主義の考え方でしょう。20世紀後半、日本社会を巻き込んだ新自由主義は、多様な考え方、やり方を否定します。

新自由主義の「自由」とは、国民の自由ではなく、それは大企業・財界のもうけの「自由」であり、その邪魔になるあらゆる社会的規制を排除し、国民には「自己責任」を押しつけ、「弱肉強食」を強いるものです。

この新自由主義のもとで、社会保障は切り捨てられ、労働法制の規制緩和が進められ、地方自治の切り捨ても進みました。

このように日本の経済と社会のあらゆる分野を大企業の目先の利益最優先という原理で押し進め、「ルールなき資本主義」を一層深刻なものにしました。

新自由主義によって医療が本来持つべき「ゆとり」を奪ってきたことが、新型コロナ・パンデミックのもとで、各地で医療崩壊という形で現れたのです。

多様性の存在を許さない日常生活が如何に窮屈で、不便なものであるかは、第二次世界大戦前及び戦争中の日本社会は、嫌と言うほど味合わされました。

2020年10月の菅政権で発生した日本学会員6名の任命拒否は、多様な意見の存在を許さない態度の現れです。政権側は、今もって、拒否理由を説明していません。

多様な意見の存在は、民主主義にとって最も尊重されるべきものです。

時代の転換期こそ、 多様性が求められる

現在の世の中は、多極化の方向に進んでいます。画一的な考え方、人間の集団の組織では、これからの世の中の変化についていくこ

とはできないでしょう。多様な人材が集まった組織の出番です。

多様性のある組織とは、複数の視点から、問題を解決する組織です。その対極にあるのが、画一的な見方、やり方で対応する組織です。

画一的な見方、やり方のメンバーばかりの組織は、これから一段と多極化が進む社会に対応できないことは、前述した 2001 年 9 月 11 日の同時多発テロ当時の FBI がそれを典型的な形で示しています。

政治の世界で考えた場合、「市民と野党との連合」こそ、多様性を生かした政治を言えるでしょう。

しかし、昨年 10 月の総選挙期間の後半において、突如、現れた厳しい反共攻撃の為、「市民と野党の連合」の中に、動揺が見られ、かつての強い共同が揺らぎはじめた感じが見られます。

間近に迫った参議院選挙に向けて、態勢を整えることが強く求められます。

現在、地球上には気候変動やコロナ禍による貧困の増大など、解決が求められる課題が山積みしています。

これらの問題に有効に対応する為に、多様性を尊重する必要性がますます大きくなっていきます。

「各自の自由な意思決定」の源流

多様性の原点となる「各自の自由な意思決定」の源流について調べてみました。

1960 年国連総会で、「植民地独立付与宣言」が採択されます。植民地とは、あらゆる人権の土台が奪われている状態です。

すべての人民は、自決の権利を持つことが、初めて国連の声として世界に宣言されたのです。

植民地体制の崩壊が、民主主義と人権、平和の国際秩序の発展を促進します。

これを象徴する重要な国際条約が、1966 年の国連総会で採択された国際人権規約です。民族自決宣言とも言われるものです。

その第 1 条は下記の通りです。

第 1 条 1. すべての人民は自決の権利を有する。この権利に基づき、すべての人

民は、その政治的地位を自由に決定し、並びに、その経済的、社会的及び文化的発展を自由に追求する。

2. すべての人民は、互恵の原理に基づく国際的経済強力から生ずる義務及び国際法上の義務に違反しない限り、自己のためにその天然の富及び資源を自由に処分することができる。人民は、いかなる場合にも、その生存のための手段を奪われることはない。

3. (略)

この民族自決権宣言から、今年で 56 年経過しています。

さらに、2001 年の国連主催「人種主義、人種差別、外国人排斥および関連する不寛容に反対する世界会議」宣言(ダーバン宣言)は、植民地支配は、「どこであれ、いつであれ、非難される」べきであることを宣言しました。

宣言には、次のように書かれています。

奴隷制と奴隷取引は人道に対する罪であり、とりわけ大西洋超え奴隷取引はつねに人道に対する罪であったし、人種主義、人種差別、外国人排斥および関連のある不寛容の主要な源泉である

植民地主義が人種主義、人種差別、外国人排斥および関連のある不寛容をもたらし、アメリカ人とアメリカ系人民、アジア人とアジア系人民、および先住民族は植民地主義の被害者であったし、いまなおその帰結の被害者であり、続けていることを認める。植民地主義によって、苦痛がもたらされ植民地主義が起きたところはどこであれ、いつであれ、避難され、その再発は防止されねばならないことを確認する。

参考文献、志位和夫著『新・綱領教室(上)』P.180-190 新日本出版社 2022 年 4 月発行

「各自の自由な意思決定」は、先人達の苦勞の上に築かれたものであることがわかります。先人達から、受け継いだ貴重な財産を守り、発展させる責任を改めて感じます。



前川喜平著『権力は腐敗する』（毎日新聞出版 2021年9月）の紹介

元文科省 事務次官の前川喜平氏の近著の紹介です。
本のブックカバーの帯に示されている「権威を疑え、自分の頭で考えろ、さもなくば民主主義は終わる」が本書の内容をうまく表現しています。

安部・菅政権は数々の失敗を行ってきたが、中でも最悪のものが、新型コロナウイルス対策だろう。ウイルスというごまかしの利かない敵を前に、非科学的で場当たりので、無責任しかも強権的で専制的なこの政権の欠陥が露わになってしまったのだ。
中でも私が許しがたいと思っているのは2020年3月～6月にかけて行われた全国一斉休校である。（同書P.136）

当時、児童生徒の発症の割合は低く、学校の中心に感染が広がっている状況ではなかったのです。
同時に、休校中の子ども居場所が問題となります。

各章のタイトルは下記の通りです。

- 第1章 安倍晋三氏による国政私物化 — 加計学園問題
- 第2章 私物化の継承と暗躍する官邸官僚
- 第3章 安倍・菅政権における政と官
- 第4章 人災だった全国一斉休校
- 第5章 奪われ続ける自由
- 第6章 主権者を育てる

～*～*～ あとがき ～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*

朋友だより 175号をお届けいたします。

先日ウクライナ人歌手で日本にて活動しているナターシャ・グジーさんの歌唱をユーチューブで聴きました。澄んだ歌声はウクライナ国旗の上半分の青空のように爽やかです。またその表情は下半分の穀倉地帯を象徴するかのような豊かで優しい色を感じました。今、故郷の非情な状況の中にあり支援を求めています。彼女の母親は日本に避難してきたとのこと。一人一人が生命をかけた苦しい日々を過ごしておられるのを日々のニュースで見るたび、心が凍る思いです。音楽には人々の悲しみや苦しみを癒す役目と力があります。

コロナ禍ですが私の所属する合唱団もずっと、Zoomでの練習活動を続けてきたのですが少しずつ対面練習を重ね、やっと5月5日に初夏のミニコンサートをする計画をしています。会場から求められている感染症対策をしっかり講じて、自分たちが積み重ねてきた練習の成果というより、活動への自信を再生するための機会となりますように。少しでも前に向かうことに繋がればと思っています。（野上）



朋友

有限会社 コンサルタント朋友
〒174-0064 東京都板橋区中台 1-35-10
TEL. 090-4439-4550 FAX. 03-3935-3510
e-mail foryou91@tokyo.email.ne.jp
URL:<http://www.consultant-hoyu.co.jp>